

津波・水害から命を守るために

防災マップ 東住吉区

保存版



東海豪雨による浸水被害状況(名古屋市)
(提供:国土交通省中部地方整備局)

近年「平成12年9月東海豪雨」「平成16年7月新潟・福島豪雨及び福井豪雨」「平成16年10月の台風23号による由良川や円山川の氾濫」のような河川や下水道の能力を超える豪雨により、大規模な浸水被害が発生しています。また、東南海・南海地震の発生する確率が今後30年以内に50～60%といわれており、大阪市においては震度5強(一部6弱)の揺れとともに2～3m程度の津波が地震発生後約2時間で来襲すると予測されています。

河川や下水道で想定している以上の豪雨が降った場合や、地震による津波が発生した場合に備えて、浸水が予想される区域と避難時の心得を示した「防災マップ」を作成しました。

浸水による被害を軽減するためには、自分の住んでいる場所がどの程度浸水するおそれがあるのかを把握し、いざという時にとるべき行動をあらかじめ考えておくなど、日頃からの備えが重要です。「防災マップ」を役立てていただき、もしもの時の役割や連絡方法などを今一度よく話し合っておきましょう。

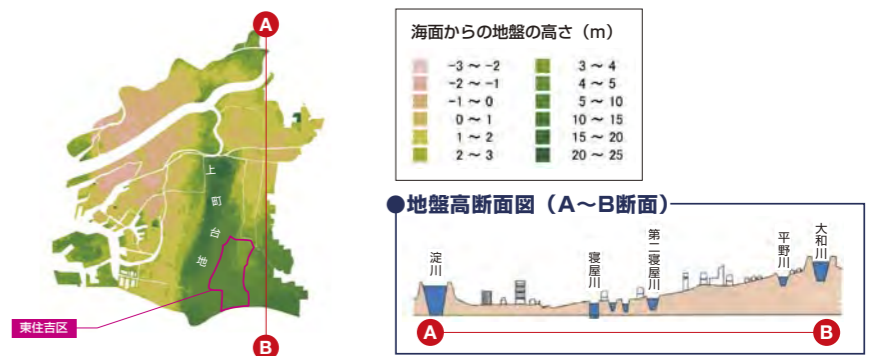


このパンフレットに関するお問い合わせは、大阪市危機管理室まで Tel.06-6208-7385
このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧になれます。 <http://www.city.osaka.jp/kikikanrishitsu/>

大阪市は水害に弱い地形

大阪市は、淀川、神崎川、大和川、寝屋川といった大きな河川と海に囲まれており、市街地の9割までが平坦な低地で自然排水が困難なため、大雨、津波による水害に対して非常に弱い地形となっています。

大阪市の下水道は、計画降雨量60mm/時を対象に整備を進めています。



大阪市内で想定されている水害

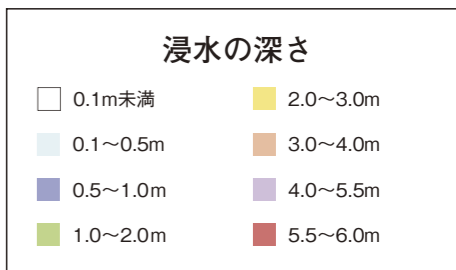
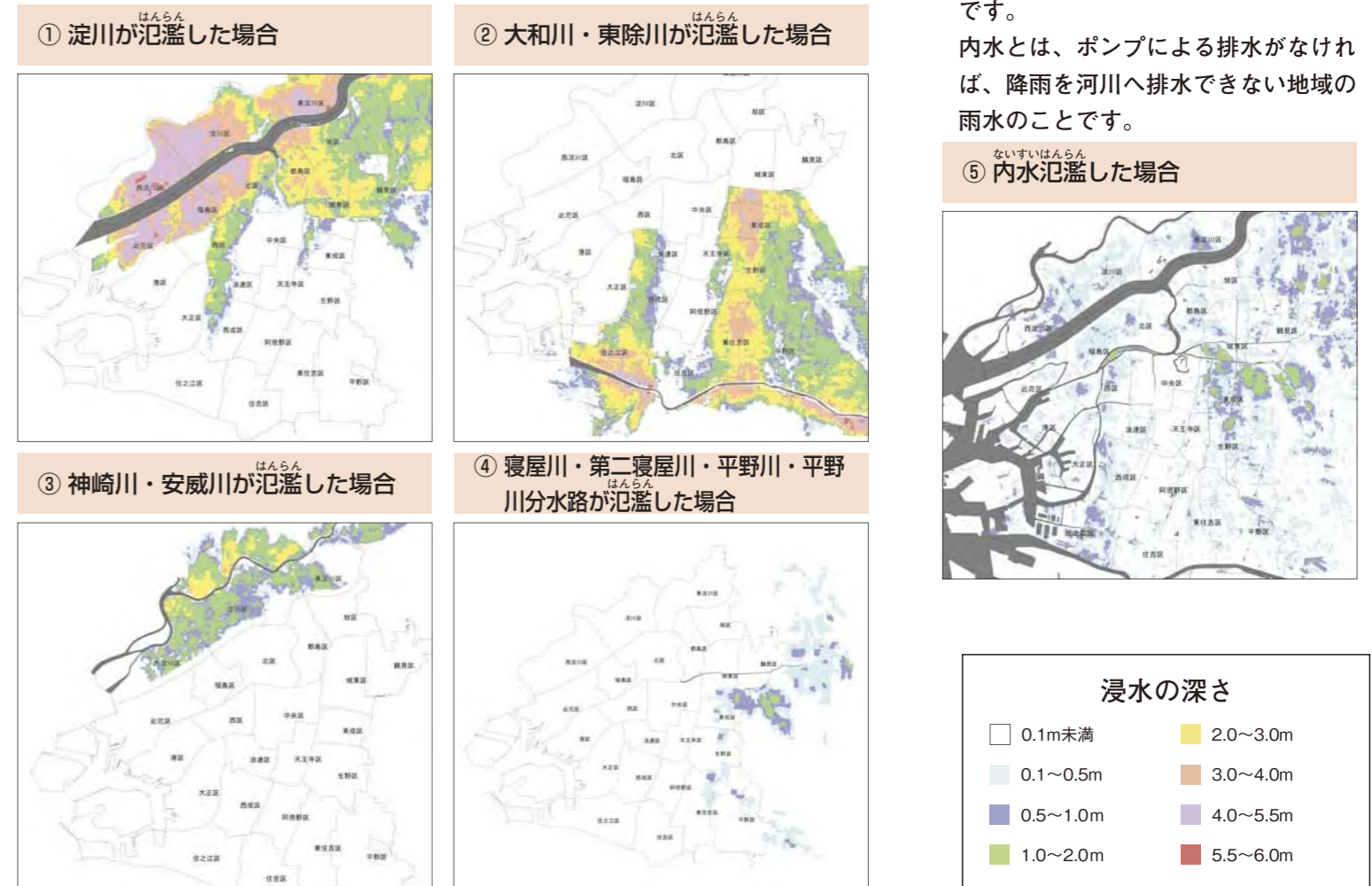
大阪市内では、河川管理者等(近畿地方整備局、大阪府、大阪府都市型水害対策検討委員会)によって大雨が降った場合や東南海・南海地震による津波が発生した場合の浸水が想定されています。想定されている水害は、河川氾濫、内水氾濫、津波氾濫の3種類の氾濫があります。

I) 河川の氾濫

河川水位が堤防よりも高くなった時や、堤防が壊れた時に、河川の水が流れ込む氾濫です。大阪市内では、淀川、大和川、神崎川、安威川、寝屋川、第二寝屋川、平野川、平野川分水路、東除川の氾濫が想定されています。

II) 内水の氾濫

まさに降った雨が下水道などから排水することができず、その場にたまり浸水することなどによって発生する氾濫です。内水とは、ポンプによる排水がなければ、降雨を河川へ排水できない地域の雨水のことです。



番号	河川名等	想定している雨の条件(河川の氾濫については、下記の降雨条件で、仮に破堤(堤防が決壊)した場合を想定しています)	
①	淀川	総雨量 ^{注2)} 500mmの降雨	昭和28年9月洪水(台風13号)の2倍の降雨(東海豪雨級の降雨 ^{注1)})
②	大和川	総雨量 ^{注2)} 280mmの降雨の降雨(石川合流点下流)	200年に一度起きる程度の降雨(石川合流点下流)
		総雨量 ^{注2)} 268mmの降雨の降雨(石川合流点上流)	150年に一度起きる程度の降雨(石川合流点上流)
③	東除川	総雨量 ^{注2)} 233.9mm、時間最大雨量 ^{注2)} 75.8mmの降雨	100年に一度起きる程度の降雨
		神崎川	総雨量 ^{注2)} 250mm、時間最大雨量 ^{注2)} 50mmの降雨
④	安威川	総雨量 ^{注2)} 247mm、時間最大雨量 ^{注2)} 87.5mmの降雨	100年に一度起きる程度の降雨
		寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路	総雨量 ^{注2)} 311.2mm、時間最大雨量 ^{注2)} 62.9mmの降雨
⑤	内水氾濫	総雨量 ^{注2)} 567mm、時間最大雨量 ^{注2)} 93mm	東海豪雨級の降雨 ^{注1)}

注1) 平成12年9月に、東海地方で観測された過去100年間で最大級の豪雨。約58万人に対して避難勧告、指示が出されるなど大きな被害をもたらしました。
注2) 流域とは、降った雨がひとつの河川に集まる範囲を意味しています。総雨量は、雨の降りはじめから降り終わり(2～3日間)に降った雨の総量で、時間最大雨量はその期間中、最も雨が降った時間の1時間あたりの雨量のことです。

東住吉区における水害防災マップ

- ・避難場所までの経路はあらかじめ決めておき、事前に確認しておきましょう。
- ・東住吉区では、大和川、寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路が氾濫した場合等に大きな災害となる可能性があります。あなたがお住まいのところの浸水深を防災マップで確かめて、いざというときのために安全な避難場所を普段から確認しておいてください。
- ・地盤の高低や、雨の降り方によっては、想定を超える浸水となる可能性があります。また、複数の河川等が氾濫した場合には、より大きな浸水となる可能性があります。

避難所

- : 収容避難所 (すべての階層が利用可能)
- : 収容避難所 (2階以上が利用可能: 1階まで浸水するおそれがあります)

- : 災害時連絡先
A: 区役所・保健福祉センター
B: 区役所矢田出張所
C: 警察署 **D**: 消防署

⊕ : 防災スピーカー (防災行政無線)

- +—+—+— : JR
- +—+—+—+—+—+—+—+—+— : 私鉄
- - - - : 地下鉄
- : 駅
- : 国道等
- · - · - · - · - · : 区境界線
- · - · - · - · - · : 町境界線

※避難所の浸水階層は浸水想定に基づいたものです。

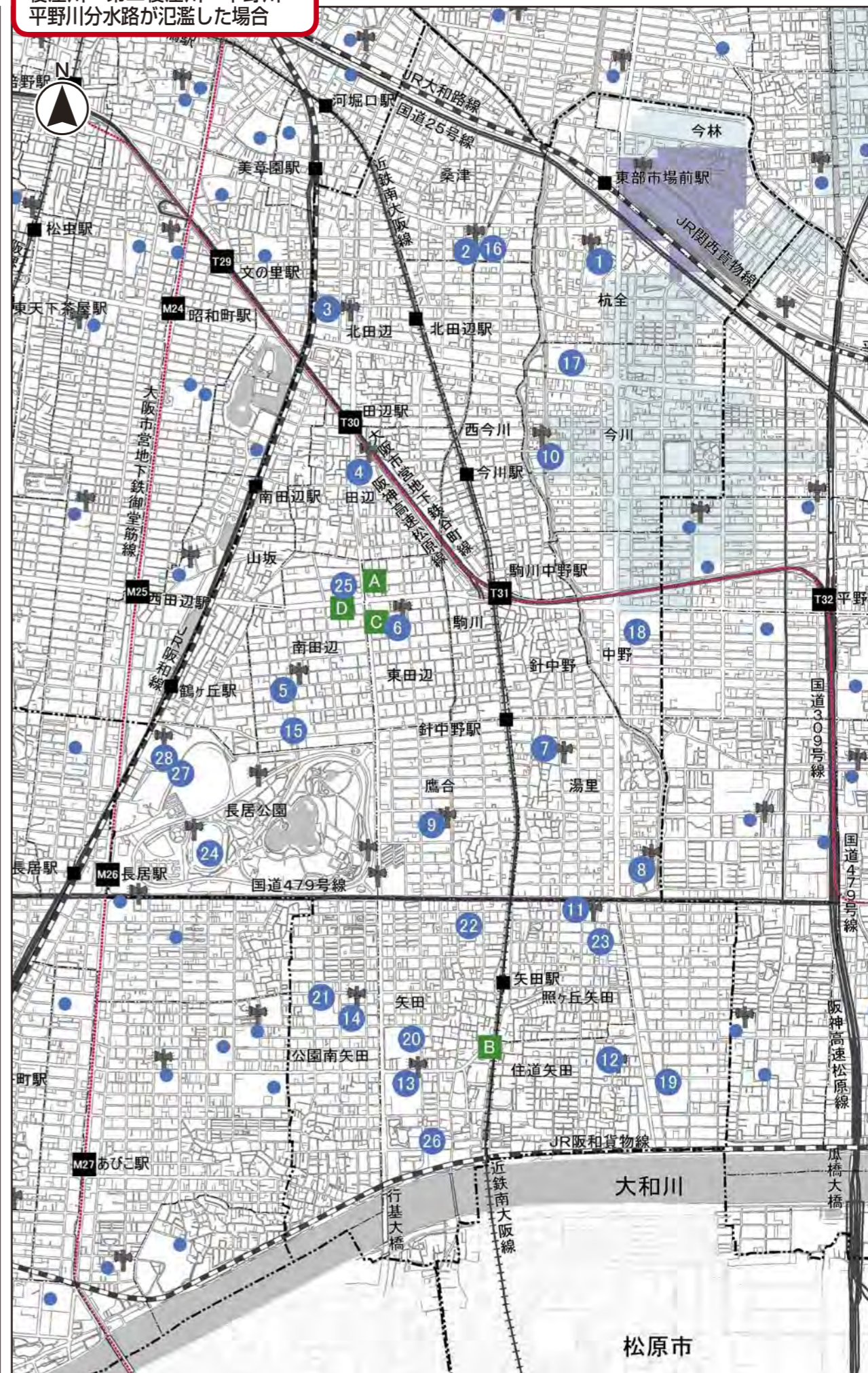
浸水の深さ

- 0.1m未満
- 0.1~0.5m
- 0.5~1.0m
- 1.0~2.0m
- 2.0~3.0m
- 3.0~4.0m
- 4.0~5.5m

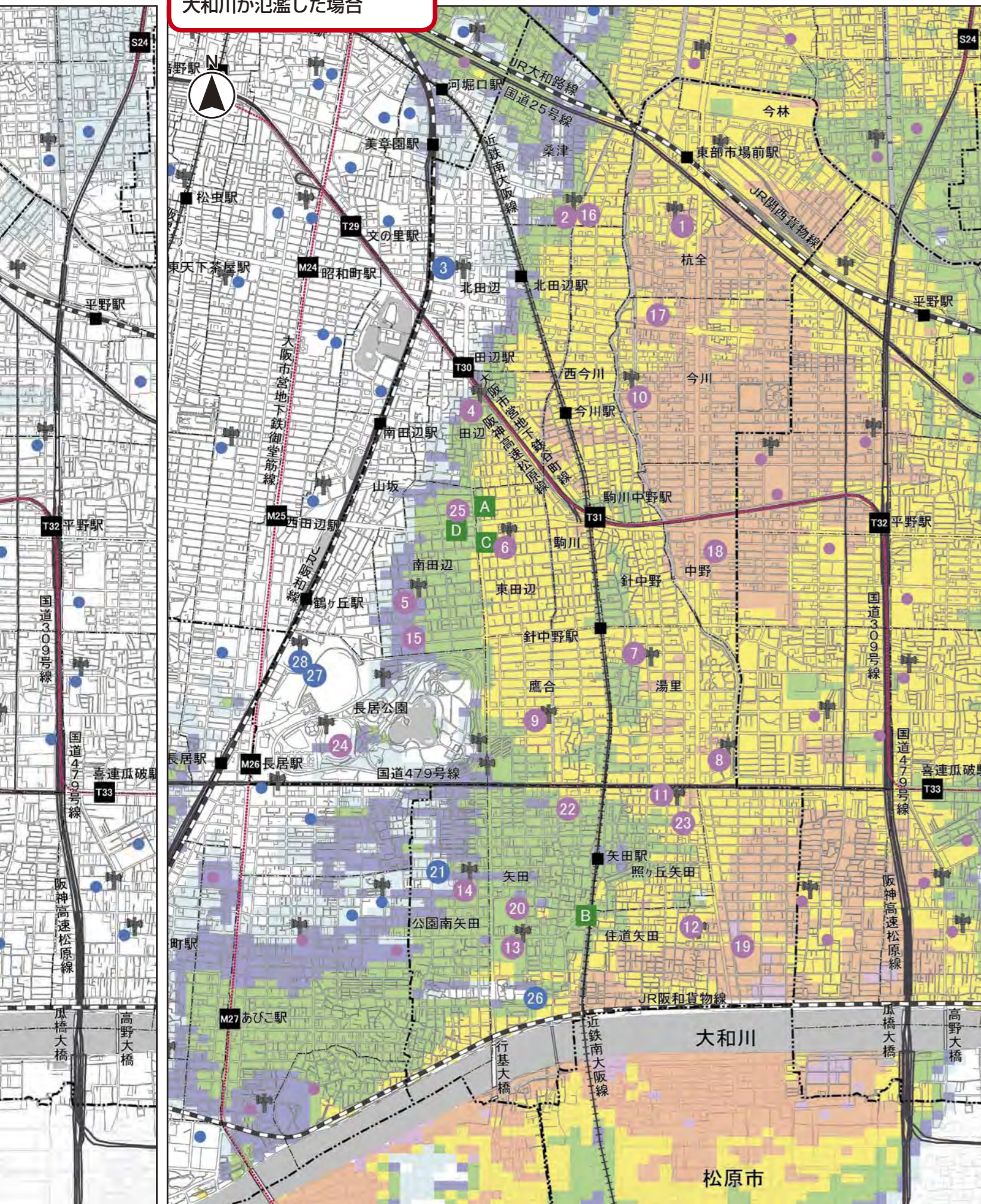
内水氾濫した場合



寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路が氾濫した場合



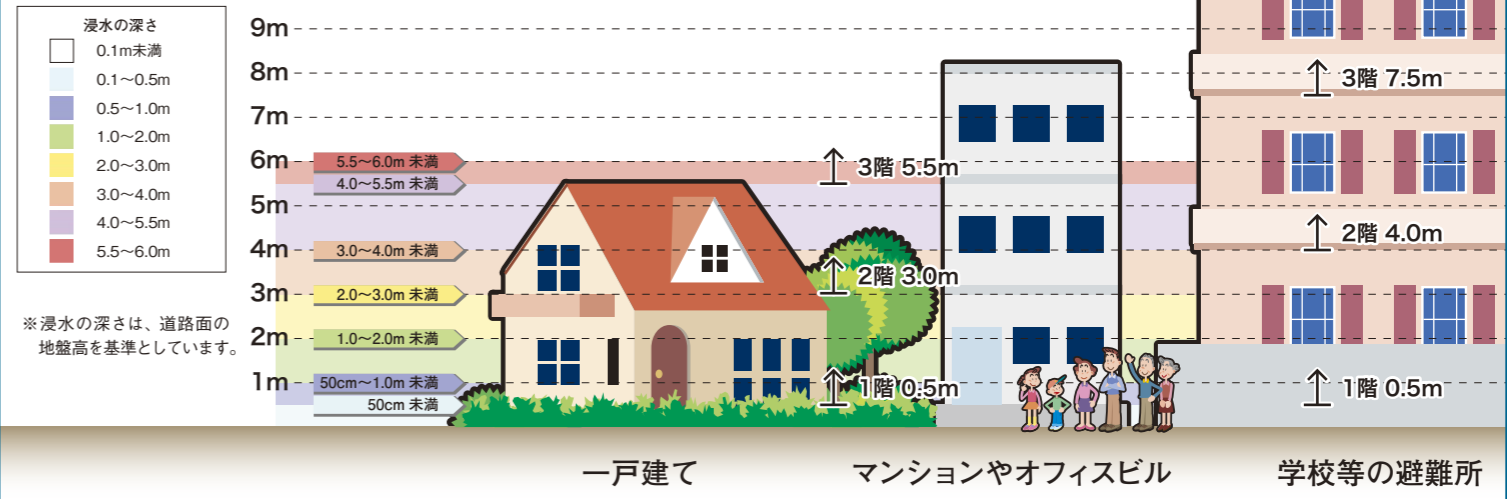
大和川が氾濫した場合



収容避難所 (災害の状況に応じて開設されます。)

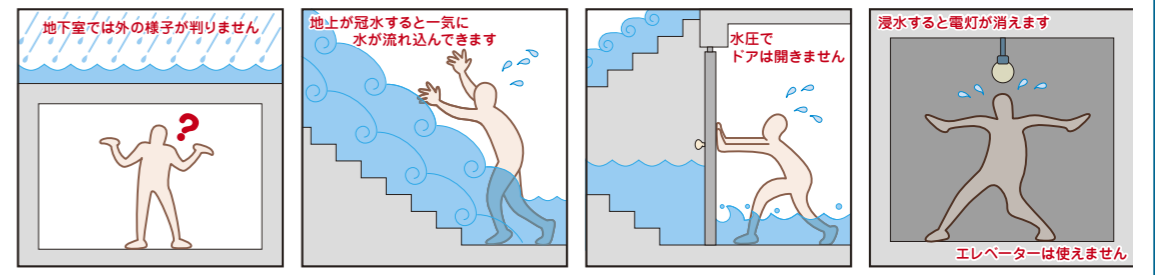
① 育和小学校	⑦ 南百済小学校	⑬ 矢田小学校	⑲ 矢田中学校	⑲ 早川福祉会館
② 桑津小学校	⑧ 湯里小学校	⑭ 矢田西小学校	⑳ 矢田南中学校	⑳ 矢田人権文化センター
③ 北田辺小学校	⑨ 鷹合小学校	⑮ 田辺中学校	㉑ 矢田西中学校	㉑ 長居陸上競技場
④ 田辺小学校	⑩ 今川小学校	⑯ 東住吉中学校	㉒ 大阪芸術大学短期大学部	㉒ 長居球場
⑤ 南田辺小学校	⑪ 矢田北小学校	⑰ 白鷺中学校	㉓ 城南学園	
⑥ 東田辺小学校	⑫ 矢田東小学校	⑱ 中野中学校	㉔ 長居第2陸上競技場	

浸水深さの目安



浸水時、地下空間は危険です！

- 地下階等がある建物の管理者の方は、日頃から排水設備（側溝、ポンプなど）の点検や、土のう・止水板などを準備しましょう。
- あらかじめ、地上への避難経路を確認しておきましょう。
- 避難の際は、まず係員の指示に従い、地上に上がることを心がけ、大きな建物の3階以上に避難しましょう。（浸水深が5.5mを超える地域については、4階以上）



どんなときに避難すればいいの？ (重要！)

目安	状況	発令の目安	どうするの
1	大雨・洪水注意報	・1時間に20ミリ以上の雨（総雨量50ミリ以上）が予想されるとき ・3時間に40ミリ以上の雨が予想されるとき ・24時間に70ミリ以上の雨が予想されるとき	・非常持ち出し用品の確認を！ ・気象情報に注意を！ ・土のうの設置や貴重品の移動など
2	大雨・洪水警報	・1時間に40ミリ以上の雨（総雨量100ミリ以上）が予想されるとき ・3時間に70ミリ以上の雨が予想されるとき ・24時間に130ミリ以上の雨が予想されるとき	・雨の降り方や浸水の状況に注意し、不安を感じたら自主避難しましょう（※ただし、収容避難所は、災害の状況に応じて開設されますので、区役所に確認をおねがいします。）
3	避難勧告の発令	・河川の水位が上昇し、洪水のおそれがあるとき ・避難の必要が予想される気象等の各種警報が発令されたとき	・マンション等にお住まいの方は浸水のおそれのない階 ^{注7)} に避難しましょう ・一戸建て等にお住まいの方は、もよりの収容避難所へ避難しましょう ・避難所への避難が困難な場合は、しょうぶな建物の浸水のおそれのない階 ^{注7)} に避難しましょう

注7) 浸水のおそれのない階はあらかじめ防災マップの想定でご確認ください。（ただし、浸水の深さは、シミュレーションに基づいており実際の状況と異なることがあります。）

○避難勧告は、テレビ、ラジオ、防災スピーカー（防災行政無線）、広報車等を通じて伝達されます。

※浸水の深さが、50センチを超えると、大人のひざあたりまで、浸水します。このような状態では歩くことも困難であり、高齢者やお子様には大変危険です。浸水が発生する前に、避難をする必要があります。避難勧告が発令されたときは、ただちに避難してください。
※大和川の氾濫などにより、大規模な浸水が発生した場合、収容避難所が大変混雑することが予想されます。また、収容避難所への避難が遠距離になる場合や、高齢者の方など収容避難所までの避難に時間がかかる場合も予想されます。あらかじめ、地域やご近所でお知り合いのビル・マンションにお住まいの方や管理者等と、一時的な避難場所の提供について話し合っておくことも大切です。

大阪市にも津波がやってくる

津波が来襲した場合

(東住吉区は津波の浸水予測範囲外ですが、ラジオ・テレビ等の情報を確認し、下記の事項にご注意ください。)

- この図は、**東南海・南海地震^{注3)}**(マグニチュード8.6程度)が同時に発生し、**防潮堤に設置されている防潮扉(夜間、開放されているもの)**などが閉まらなかった場合に津波による浸水が起きたときの予測図です(満潮時を想定)。
- 東南海・南海地震発生後、約2時間で津波が大崎市に到達**すると想定されています。
- 大崎市では防潮堤をO.P.+5.7～7.2m^{注4)}で整備しています。この高さは、満潮位(O.P.+2.1m)に、最大の津波高(2.9m)を加えた津波対策計画高(O.P.+5.0m)を上回っており、防潮扉などを確実に閉めることで、津波の浸水を防ぐことができます。ただし、地震により防潮扉が動かなくなることなども考えられるため、津波警報がでた場合には、速やかに避難してください。
- 地盤の高低や地震の状況で、場所によっては、実際の浸水の状況と異なります。



注3) 南海トラフを震源とする海溝型の地震で、おおむね100年～150年の間隔で発生しています。今後30年以内に発生する確率は、東南海地震60%、南海地震50%です。(発生確率は、2006(平成18)年1月1日を起点としたもの)大阪でも1944(昭和19)年に「昭和東南海地震」、1946(昭和21)年に「昭和南海地震」の被害を受けています。

注4) O.P.(Osaka Peil)大阪湾工事基準面(大阪湾最低潮位面)

避難のポイント

津波は繰り返しやってきます

- 津波は繰り返しやってきます。また、最初の波より、次の波が大きいことがあります。
- 注意報・警報が解除されるまで、注意してください。また、津波による水面の振動は長時間続くことがあります。警報等が解除された後も、河川や海岸には近づかないください。
- 津波は河川を伝ってさかのぼります。河川や海岸から離れてください。

地震のゆれにも注意を

- 東南海・南海地震が発生すれば、大崎市でも震度5強(一部6弱)の揺れが想定されます。
- 避難の際には建物や、ブロック塀の倒壊にもご注意を。

津波予報(警報・注意報)重要!

津波予報は、地震発生後3～5分程度で発表されます。地震発生後の防災気象情報(津波予報)には、十分に注意してください。また、津波警報がでた場合は、速やかに避難してください。たとえ小さな揺れの地震であっても津波が発生することがあります。ゆれを感じたら、海岸、河川から早く離れましょう。

予報の種類	津波注意報		津波警報	
	津波注意	津波	大津波	
解説	高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒してください。	高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	
発表される津波の高さ	「0.5m」	「1m」、「2m」	「3m」、「4m」、「6m」、「8m」、「10m以上」	
どうするの	・非常持ち出し用品の確認を! ・防災気象情報(津波予報)に注意を!	※東南海・南海地震が発生した場合、大阪においても震度5強(一部6弱)の揺れが想定され、火災の発生も予想されます。浸水予測範囲の外の広域避難場所、一時避難所等に避難することが重要です。 ※ただし、範囲外への避難が困難な場合や時間的余裕がない場合(地震発生から津波が来るまで約2時間)もよりの収容避難所やじょうぶな建物 ^{注5)} の浸水のおそれのない階 ^{注6)} に、安全をご確認のうえ、避難してください。		

○避難勧告や避難指示は、テレビ、ラジオ、防災スピーカー(防災行政無線)、広報車等を通じて伝達されます。

注5)「じょうぶな建物」とは? 1981(昭和56)年以降の新耐震基準による建物をいいます。(新耐震基準による建物は、1995(平成7)年の阪神・淡路大震災においても被害が少なかった。)

注6) 浸水のおそれのない階はあらかじめ防災マップの想定でご確認下さい。(ただし、浸水の深さはシミュレーションに基づいており、実際の状況と異なることがあります。)

備えを万全に

・イラストに示すような品々を事前に準備しておきましょう。

・万一来襲して、避難先と連絡が取れるようにしておきましょう。この地図にご自宅から避難場所までの経路を、家族と相談して書きこみましょう。「緊急時持ち出し品」は、日頃から準備しましょう。

我が家の防災メモ(書き込んでください:太枠内)

項目	名前	所在地	電話番号等
我が家の避難所			
災害時の緊急連絡先			
家族の名前	生年月日	血液型	既往症
会社・学校の電話番号			

避難のときの心得

- ①動きやすい服装で、隣近所で助け合いながら避難しましょう。
- ②避難の前に火気を確かめ完全に消しましょう。必ず、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。
- ③高齢者の方やお子様、身体の不自由な方などで援助を必要とする方は早めの避難が必要です。また、ご近所の方は、援助を要する方に声をかけ、避難の準備を手伝うなど、避難に協力をお願いします。
- ④車での避難は特別な場合を除き控えましょう。自動車は浸水や道路の不通で動けなくなる場合があります。緊急車両の通行の妨げにもなります。
- ⑤大雨によりマンホールのふたが外れる場合があります。マンホールや側溝に注意しましょう。

降雨や津波の情報が得られるHP等一覧

降雨情報:気象庁 http://www.jma.go.jp/JMA_HP/jma/index.html

大阪市 <http://www.city.osaka.jp/ame/>

水位情報:国土交通省川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
大阪府防災情報システム http://o-dis.pref.osaka.jp/O-dis_main.htm

河川の情報:(淀川) <http://mobile.yodoriver-net.jp>
(大和川) <http://www.yamato.kkr.mlit.go.jp>

地震・津波情報:気象庁 http://www.jma.go.jp/JMA_HP/jma/index.html

携帯電話から降雨情報へのアクセス方法

EZweb へのアクセス方法 EZweb→トップメニュー→エリア→関西→天気・ニュース→てんコミ関西!→大阪市降雨レーダーへ→大阪市降雨実況

iモード へのアクセス方法 iモード→iメニュー→メニューリスト→天気/ニュース/情報→気象協会→大阪雨模様→今の雨実況

ポータルウェブ へのアクセス方法 Vodafone live!→メニューリスト→エリア→天気・ニュース・経済→天気→日本気象協会→大阪雨模様→今の雨実況



緊急時持ち出し品の例

災害時連絡先一覧

A 東住吉区役所	4399-9734
東住吉区保健福祉センター	4399-9882
B 東住吉区役所矢田出張所	6692-1341
C 警察署	110
D 消防署	119
下水道(中野下水道センター)	6705-0341
水道(水道局田辺営業所)	6692-1252
道路(建設局東南工営所)	6705-0102
電気事故(関西電力)	6441-8821
ガスもれ(大阪ガス)	0120-019-424
電話(N T T)	113

NTT災害用伝言ダイヤル 171(安否確認に使えます)

大規模災害発生時に、被災地域やその他の地域の方との間で「声の伝言板」(伝言の録音・再生)の役割を果たすシステムです。「171」ダイヤル後、音声ガイダンスの指示に従って下さい。NTT伝言ダイヤルは大規模災害時に開設されます。

iモード災害用伝言板サービス

大規模災害が発生した場合、「iMenu」のトップに「災害用伝言板」(英語版の場合は「Disaster Message Board」)が追加され、ご利用可能となります。

●浸水想定や河川整備等に関する問合せ先

問合せ先	電話番号
淀川 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所	072-843-2861
大和川 国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所	0729-71-1381
東除川 大阪府富田土木事務所	0721-25-1131
神崎川 大阪府西大阪治水事務所	06-6541-7771
安威川 大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
寝屋川	
平野川 大阪府寝屋川水系改修工営所	06-6962-7661
分水路	
内水 大阪市都市環境局下水道部	06-6615-7174
津波 大阪市港湾局	06-6615-7782